

にほん せいじんしき
日本の成人式



にほん ほうりつじょう はたち せいじん
日本では法律上、二十歳で成人になります。まいとし がつ だい げつようび せいじん ひ
毎年、1月の第2月曜日は「成人の日」で、
こくみん しゅくじつ かくち せいじんしき おこな はたち ひと いわ
国民の祝日です。各地で「成人式」が行われ、二十歳になった人を祝います。

はたち せいじんしき
二十歳になって成人式をむかえると、それまで子どもとしてあつかわれていた個人が、
いちにんまえ しゃかい みと にほん もともと せいじんしき きぞくしゃかい ぶけしゃかい おこな
一人前として社会から認められます。日本では元々、成人式は貴族社会や武家社会で行わ
れていました。とうじ いっぱん さい さい
当時は、一般に15歳から18歳になると、きもの かみがた か おとな
着る物や髪型を変えて、大人の
なかまい あらわ
仲間入りをしたことを表していました。

げんざい にほん はたち どりつ しゃかいじん ちい あた せいじん
現在、日本では二十歳になると、独立した社会人としての地位が与えられます。成人にな
ると、たばこや飲酒が法律で許可され、せんきょけん も
たばこや飲酒が法律で許可され、選挙権を持つことができます。いっぽう ぜいきん はら
一方、税金を払う
ぎむ しょう はんざい おか けいぼつ きび
義務が生じたり、犯罪を犯したときの刑罰が厳しくなったりするなど、社会に対して、
おとな せきにん も
大人としての責任を持たなければなりません。